

相模原市立公文書館第15回企画展

# 「『軍都計画』と相模原」 その後

～陸軍機甲整備学校（キャンプ淵野辺）の変遷～



## 展示資料目録



令和元年7月発行

相模原市立公文書館

# 目 次

1	第15回企画展の展示内容について	1
2	展示資料の利用について	1
3	展示概要	2
4	展示資料目録	4～8
5	参考資料	8～9

## <開催期間・場所>

**開催期間** 令和元年7月5日(金) - 9月8日(日)

**開催時間** 午前8時45分 - 午後5時

休館日は毎週月曜日(7月15日、8月12日は除く)、7月16日(火)・17日(水)、8月13日(火)・21日(水)です。

**開催場所** 相模原市立公文書館

〒252-5192

相模原市緑区久保沢1丁目3番1号

城山総合事務所第2別館3階

電話 042-783-8053



## 1 第15回企画展の展示内容について

現在、市立弥栄小学校、市立淵野辺公園、市立博物館や国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、国民生活センターなどのある場所は、昔は「キャンプ淵野辺」という米軍基地でした。さらにそれ以前は、日本陸軍機甲整備学校という戦車等を整備することを学ぶ学校でした。それらがどのように移り変わっていったかを歴史的公文書等で現していきます。

なお、詳細につきましては、「3 展示概要」をご覧ください。

## 2 展示資料の利用について

展示している資料のうち、展示資料目録の「出典等」の項目に『歴史的公文書』と記載されているものは、展示期間終了後、公文書館で所定の手続きを行っていただきますと、一部を除きご利用いただくことが可能です。

また、『行政資料』と記載されているものにつきましては、当館や行政資料コーナーで展示期間中でも閲覧することができますので、お申し出ください。

なお、「出典等」の項目に国立公文書館所蔵（『特定歴史公文書』と言います。）神奈川県立公文書館所蔵、相模原市立博物館所蔵と記載されている資料のご利用につきましては、各館へ直接お問い合わせください。

### 3 展示概要

#### 陸軍施設の移転から終戦へ

広大な原野であった相模原台地に、1937（昭和12）年9月、陸軍士官学校が建設され、その後、臨時東京第三陸軍病院、陸軍造兵廠東京工廠相模兵器製造所（のち相模陸軍造兵廠）、陸軍工科学校（のち陸軍兵器学校）、陸軍電信第一連隊、陸軍通信学校、原町田陸軍病院（のち相模原陸軍病院）、陸軍機甲整備学校（1942（昭和17）年移転）まで、8つの陸軍施設が建設され、相模原は軍都と呼ばれるようになった。戦況が悪化、1945（昭和20）年8月14日に、日本はポツダム宣言を無条件で受諾し連合軍に降伏する意思を示し、翌8月15日正午、終戦詔書の玉音放送があり、同年9月2日、米艦ミズーリ号上にて降伏文書に調印、第2次世界大戦は終了した。

#### 陸軍施設の多くは米軍基地（陸軍機甲整備学校はキャンプ淵野辺）に

降伏文書に調印した9月2日付等で接收命令が出され、市域にも米軍が進駐し、旧日本陸軍の諸施設の多くは接收され、陸軍士官学校は「キャンプ座間」に、相模陸軍造兵廠は「相模総合補給廠」に、相模原陸軍病院は「米陸軍医療センター」に、陸軍電信第一連隊の跡地は「相模原住宅地区」に、そして陸軍機甲整備学校は調達要求書第4419号により「キャンプ淵野辺」となった。

#### キャンプ淵野辺は

キャンプ淵野辺には、1950（昭和25）年に米国防総省直轄の通信基地である国家安全保障局在日太平洋事務所が新設され、各種アンテナが林立することになった。本市は首都東京のベットタウンとしての性格を持つようになり、1967（昭和42）年8月には市の人口は20万人を超える。同年の12月13日にはキャンプ淵野辺周辺を（軍用電波を優先する）電波障害制限地区とする米軍要求が新聞報道され、大きな社会問題としてクローズアップされる。これをきっかけに、市内のあらゆる団体による全市的組織の「市電波障害制限地区指定反対実行委員会」（以下「反対実行委員会」という。）が結成され、地域の住民や自治会、婦人会、労働組合等が参加する、本市始まって以来の市民総決起集会で大会決議を行い、指定反対を表明した。市は、県知事・横浜防衛施設局長への抗議や市議会での反対決議、反対署名運動の実施、1万人集会の開催、陳情活動などを行い、1968（昭和43）年4月30日には反対実行委員会が佐藤内閣総理大臣に12万人の署名簿を添えて陳情書を提出した。

#### キャンプ淵野辺の返還

反対実行委員会は発展的に解散し、1971（昭和46）年6月、市長を会長とした「市米軍基地返還促進市民協議会」が結成され、同年7月10日、「市米軍基地返還促進市民総決起大会」を開催、米軍基地の早期返還を活動の対象としていくようになる。

また、1972（昭和47）年5月には、相模補給廠を中心として「戦車闘争」と呼ばれる市民団体なども巻き込む形で、修理済の戦闘車両等のベトナム輸送を阻止する運動が展開さ

れ、二階堂進内閣官房長官をはじめ、この問題に対する政府への要望等のやりとりの中、問題の終結をとらえる形で、同年11月23日、二階堂長官からキャンプ淵野辺の明年度(昭和48年度)中の返還、返還跡地の無償での地元利用計画への解放等が示された。

1973(昭和48)年5月31日、日米合同委員会でキャンプ淵野辺の返還が決まる。1974(昭和49)年4月1日、「市米軍提供施設跡地利用対策審議会」(以下「審議会」という。)を設置し、米軍提供施設の跡地利用について諮問。同年11月13日、審議会から「キャンプ淵野辺の跡地利用について」の答申があった。同年11月30日、キャンプ淵野辺が米軍から国に返還された(12月12日に返還式)。

## 返還から地元利用への歩み

地元は、キャンプ淵野辺の返還が決まった後、跡地の無償での地元利用を求めてきたが、1976(昭和51)年、国有財産中央審議会は返還財産の国・地元・留保地の有償三分割方式を打ち出し(以下「基準案」という。)市は基準案の撤回と地元優先利用を求め国会や大蔵省に請願を繰り返す。市の計画ではスポーツ公園施設と教育施設として利用する地元利用の計画をまとめたが、国の承認は得られず、市は緊急性の高い小学校用地の使用を先行して認めることを要求。1978(昭和53)年4月1日、キャンプ淵野辺跡地の地元利用第1号として、弥栄小学校が開校した。

その後1980(昭和55)4月に弥栄中学校、1983(昭和58)4月に由野台中学校・県立弥栄東高等学校・弥栄西高等学校が開校。そして1987(昭和62)4月に市立淵野辺公園、ひばり球場、県立相模原球場を新設した。

また、国利用施設として、1980(昭和55)4月に国民生活センターが、1985(昭和60)11月、国民年金健康保養センター「さがみの」(2009(平成21)年に解体)が、1986(昭和61)3月、東京国立近代美術館フィルムセンター相模原分館(現在の「国立映画アーカイブ相模原分館」)が完成し、そして、1989(昭和61)3月、小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」で有名の、文部省宇宙科学研究所(現在の「国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)」(以下「JAXA」という。))が移転してきた。

また、1978(昭和53)年12月15日、「相模原市立博物館設置要望書」が市長に提出され、1980(昭和55)年4月、市の「キャンプ淵野辺留保地整備計画」に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれる。1990(平成2)年11月、国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められ、1995(平成7)年11月20日、JAXAの前に、「相模原市立博物館」が開館した。

さらに、1998(平成10)年5月には、神奈川県警察学校由野台分校が開設されている。

4 展示資料目録				
No.	資料名	作成年	展示物	出典等
<b>陸軍施設の移転から終戦へ</b>				
1	軍都計画時代の軍諸施設配置図	1945(昭和20)年 8月	複写	「相模原市史第4巻」折込地図 [行政資料]
2	「ポツダム」宣言受諾ニ関スル内閣総理大臣及び外務大臣報告	1945(昭和20)年 8月	複写	昭和20年「枢密院会議筆記」一、「ポツダム」宣言受諾ニ関スル内閣総理大臣及び外務大臣報告(国立公文書館所蔵)[特定歴史公文書] JACAR(アジア歴史資料センター) Ref.A03033831200
<b>陸軍施設の多くは米軍基地(陸軍機甲整備学校はキャンプ淵野辺)に</b>				
3	連合国軍(米軍)部隊の相模原進駐状況	1945(昭和20)年 9月	複写	「相模原市史 現代通史編」 [行政資料]
4	「キャンプ座間」 概要、沿革	1974(昭和49)年 3月	複写	「統基地白書(昭和49年3月)」 [行政資料]
5	「相模補給廠」 概要、沿革	1974(昭和49)年 3月	複写	「統基地白書(昭和49年3月)」 [行政資料]
6	「キャンプ淵野辺」 概要、沿革	1974(昭和49)年 3月	複写	「統基地白書(昭和49年3月)」 [行政資料]
7	連合国軍による危害防止に関する回覧	1945(昭和20)年 9月	原本	「昭和20年時局関係綴」 (旧麻溝村文書) (相模原市立博物館所蔵)
8	昭和20年相模原町事務報告 「民主的新日本ノ建設八着ヲトシテ実施セラレツ、アリ」	1945(昭和20)年	原本	「昭和21、22年度町会会議録及び議決書」(相模原町文書)(相模原市所蔵)
9	講和成立後の情勢に対応する相模原町の要望事項	1952(昭和27)年 1月	原本	「日米行政協定に基づく提供施設関係書類(提供施設関係書類)」 (神奈川県立公文書館所蔵) [歴史的公文書]

10	米軍基地返還、払い下げについての陳情書	1959(昭和34)年7月	原本	「昭和33年提供施設関係書類綴(相模総合補給廠)」(神奈川県立公文書館所蔵)[歴史的公文書]
----	---------------------	---------------	----	--

### キャンプ淵野辺は

11	キャンプ淵野辺周辺における電波地役権の米国側要求	1965(昭和40)年7月	原本	「昭和39、40年度 基地提供及び返還」(神奈川県立公文書館所蔵)[歴史的公文書]
12	電波障害制限地区指定反対市民集会	1968(昭和43)年2月	複写(写真)	「相模原市史 現代図録」[行政資料]
13	電波障害制限地区指定反対相模原市民総決起大会開催について(開催通知)	1967(昭和42)年12月	原本	「昭和40年～44年公民館関係綴」(相模原市立博物館所蔵)(今井清氏寄贈)
14	電波障害制限地区指定反対相模原市民総決起大会開催要項案、大会決議案	1967(昭和42)年12月	原本	「昭和40年～44年公民館関係綴」(相模原市立博物館所蔵)(今井清氏寄贈)

### キャンプ淵野辺の返還

15	FAC3080キャンプ淵野辺の返還後における跡地利用について(市要望)	1970(昭和45)年	原本	「キャンプ淵野辺返還後における跡地利用について(要望)写」[佐々井典比古氏関係資料]さ-7-1-5-2(神奈川県立公文書館所蔵)[歴史的公文書]
16	キャンプ淵野辺跡地利用構想図(市案)	1970(昭和45)年	複写	「昭和56年度 キャンプ淵野辺」(神奈川県立公文書館所蔵)[歴史的公文書]
17	キャンプ淵野辺利用構想図(県案)	1972(昭和47)年11月18日	複写	「キャンプ淵野辺返還に伴う跡地の公園化について(新聞記者発表)」[佐々井典比古氏関係資料]さ-7-1-5(神奈川県立公文書館所蔵)[歴史的公文書]
18	県と市が計画したキャンプ淵野辺の跡地利用	1989(平成元年)	複写	「相模原と米軍基地」(平成元年)[行政資料]
19	要望書 キャンプ淵野辺の返還後における跡地利用について(大蔵大臣宛)	1970(昭和45)年	原本	「キャンプ淵野辺跡地利用」(相模原市立公文書館所蔵)[歴史的公文書]
20	相模原市米軍基地返還促進市民協議会の発会式の開催について	1971(昭和46)年6月	原本	「46年度米軍基地返還促進市民協議会」(相模原市所蔵)
21	市長を先頭にデモ行進(返還促進市民協議会の総決起集会後)	1971(昭和46)年7月10日	複写(写真)	「相模原市史 現代図録編」[行政資料]

22	米陸軍相模補給廠における戦車等の修理に関する抗議について(市議会議長名)	1972(昭和47)年5月	原本	「昭和46～49年度基地問題特別委員会」(相模原市所蔵)
23	相模補給廠で修理された戦車等のベトナム輸送についての抗議文(市長名)	1972(昭和47)年5月12日・18日	複写	「昭和47年度基地対策関係書類(相模補給廠戦斗車両搬送問題)」(相模原市立公文書館所蔵) [歴史的公文書]
24	相模補給廠で修理された戦車等のベトナム輸送についての抗議文(市民協議会長名)	1972(昭和47)年6月6日	複写	「昭和47年度基地対策関係書類(相模補給廠戦斗車両搬送問題)」(相模原市立公文書館所蔵) [歴史的公文書]
25	米陸軍の戦車等の輸送についての質問書	1972(昭和47)年7月21日	原本	「昭和47年度基地対策関係書類(相模補給廠戦斗車両搬送問題)」(相模原市立公文書館所蔵) [歴史的公文書]
26	米軍戦闘車両の輸送についての質問書及び回答の詳細2点(25及び32の詳細)	1972(昭和47)年	複写	「昭和47年度基地対策関係書類(相模補給廠戦斗車両搬送問題)」(相模原市立公文書館所蔵) [歴史的公文書]
27	相模補給廠における戦車輸送についての要望(決裁文と要望書)	1972(昭和47)年8月15日	複写	「昭和47年度基地対策関係書類(相模補給廠戦斗車両搬送問題)」(相模原市立公文書館所蔵) [歴史的公文書]
28	相模補給廠から搬出された米軍重車両の調査に当たっていた本市職員への乱暴、逮捕についての抗議文、要求書	1972(昭和47)年8月15日、17日	原本	「昭和47年度基地対策関係書類(相模補給廠戦斗車両搬送問題)」(相模原市立公文書館所蔵) [歴史的公文書]
29	28(8/15、17の抗議文、要求書)の詳細	1972(昭和47)年8月15日、17日	複写	「昭和47年度基地対策関係書類(相模補給廠戦斗車両搬送問題)」(相模原市立公文書館所蔵) [歴史的公文書]
30	兵員輸送車を載せたトラックが西門を出る	1972(昭和47)年9月19日	複写(写真)	「相模原市史 現代図録編」 [行政資料]
31	キャンプ淵野辺、米陸軍医療センターの早期返還要求	1972(昭和47)年8月17日	複写(マイクロフィルム)	「キャンプ淵野辺関係書類」(相模原市情報公開課所蔵)
32	米軍戦闘車両の輸送について 二階堂官房長官からの回答	1972(昭和47)年10月5日、14日	原本	「昭和47年度基地対策関係書類(相模補給廠戦斗車両搬送問題)」(相模原市立公文書館所蔵) [歴史的公文書]
33	キャンプ淵野辺返還問題について 二階堂官房長官に要請する河津市長(当時)	1972(昭和47)年11月23日	複写(写真)	「相模原の基地 - よみがえるキャンプ淵野辺」[行政資料]
34	「単なる口約束であり覚え書きはなかったが、政府の責任ある立場の人の発言でもあるため、…」	1976(昭和51)年2月	原本	「県政調査会 部会記録(総務企画・厚生・警察渉外・企業)」(神奈川県立公文書館所蔵) [歴史的公文書]

35	「二階堂官房長官の発言は直接相模原市長に約束しており、…」	1976(昭和51)年9月	原本	「昭和51年度県政調査会 部会記録」(神奈川県立公文書館所蔵) [歴史的公文書]
36	キャンプ淵野辺の返還についての覚書(英文 - 訳文)	1973(昭和48)年1月	複写 (マイクロフィルム)	「キャンプ淵野辺関係書類」(相模原市情報公開課所蔵)
37	相模原市米軍基地返還促進市民決起集会	1973(昭和48)年7月28日	複写 (写真)	「相模原市史 現代図録編」 [行政資料]
38	昭和49年11月26日付け「FAC3080キャンプ淵野辺の返還について」横浜防衛施設局長からの事前連絡	1974(昭和49)年11月26日	複写 (マイクロフィルム)	「キャンプ淵野辺関係書類」(相模原市情報公開課所蔵)
39	広報さがみはら 『帰ってきたキャンプ淵野辺』	1974(昭和49)年12月	複写	「広報さがみはら」1974(昭和49)年12月1日号2面[行政資料]
40	キャンプ淵野辺返還式	1974(昭和49)年12月12日	複写 (写真)	「相模原市史 現代図録編」 [行政資料]
41	キャンプ淵野辺の跡地処分について要請(有償3分割反対の抗議文)	1976(昭和51)年6月	原本	「昭和54～57年度基地対策特別委員会」(相模原市所蔵)
42	キャンプ淵野辺跡地処分に係る新処理基準案の撤回と地元優先利用実現に関する請願書	1976(昭和51)年10月	原本	「昭和51年度米軍基地返還促進市民協議会」(相模原市所蔵)
43	キャンプ淵野辺跡地利用有償3分割案反対市民決起集会	1976(昭和51)年	複写 (写真)	「相模原市の基地 よみがえるキャンプ淵野辺」(昭和57年)[行政資料]
44	相模原市米軍提供施設の跡地利用について(答申)(キャンプ淵野辺)	1974(昭和49)年11月13日	原本	「昭和55年度米軍提供施設の跡地利用書類(米軍提供施設跡地利用対策審議会(建議))(相模原市立公文書館所蔵)」[歴史的公文書]
45	キャンプ淵野辺の跡地利用についての要望(スポーツ公園)	1979(昭和54)年3月	原本	「昭和53年度米軍基地返還促進市民協議会」(相模原市所蔵)
46	広報さがみはら 「キャンプ淵野辺の跡地小学校用地として暫定仮使用」	1977(昭和52)年10月	複写	「広報さがみはら」1977(昭和52)年10月1日号1面[行政資料]
47	キャンプ淵野辺跡地への小学校建設について(要望書)	1977(昭和52)年11月30日	原本	「米軍提供施設の跡地利用書類(キャンプ淵野辺跡地小学校書類)」(相模原市立公文書館所蔵) [歴史的公文書]
48	国民生活センター研修テスト施設建設に関する要望書(市長宛)	1977(昭和52)年11月	原本	「米軍提供施設の跡地利用書類(米軍提供施設跡地利用対策審議会・国民生活センター進出問題書類・キャンプ淵野辺跡地利用(弥栄中学校)」(相模原市立公文書館所蔵) [歴史的公文書]

## 返還から地元利用への歩み

49	全面返還された米軍基地	1989(平成元年)年	複写	「相模原と米軍基地(平成元年)」 [行政資料]
50	各基地別陳情の経緯及び市内全基地に関する陳情の経過	1974(昭和49)年 3月	複写	「続基地白書(昭和49年3月)」 [行政資料]
51	基地返還・共同使用の経過	1995(平成7)年 11月20日	複写	「相模原市と米軍基地(平成27年)」 [行政資料]
52	キャンプ淵野辺跡地利用図及び跡地利用状況一覧	2002(平成14)年	複写	「相模原市と米軍基地(平成14年)」 [行政資料]
53	返還第1号として開校した「弥栄小学校」	1978(昭和53)年 9月開校	複写 (写真)	「相模原市史 現代図録編」 [行政資料]
54	留保地の一角に立つ市立博物館	1995(平成7)年 11月20日開館	複写 (写真)	「相模原市史 現代図録編」 [行政資料]
55	キャンプ淵野辺跡地利用構想図	1982(昭和57)年	複写	「相模原市の基地 よみがえるキャンプ淵野辺」(昭和57年)[行政資料]
56	キャンプ淵野辺の現況	2007(平成19)年	複写 (写真)	「キャンプ淵野辺留保地整備計画」(平成13年)[行政資料]

## 参考文献一覧

1	「相模原市と米軍基地」(平成元年、渉外課)	1989(平成元年)年	行政資料	相模原市
2	基地白書(続基地白書・相模原の基地)1970-1982		行政資料	相模原市
3	相模原市と米軍基地	2002(平成14)年 3月	刊行物	相模原市
4	相模原市と米軍基地	2015(平成27)年 3月	刊行物	相模原市
5	キャンプ淵野辺跡地公園基本計画	1974(昭和49)年	行政資料	神奈川県
6	『相模原の基地 特集 よみがえるキャンプ淵野辺』	1982(昭和57)年	行政資料	相模原市
7	キャンプ淵野辺留保地整備計画	2011(平成23)年	行政資料	相模原市

8	相模原市史第4巻	1988(昭和63)年	刊行物	相模原市立博物館
9	相模原市史 現代図録編	2004(平成16)年	刊行物	相模原市立博物館
10	相模原市史 現代資料編	2008(平成20)年	刊行物	相模原市立博物館
11	相模原市史 現代通史編	2011(平成23)年	刊行物	相模原市立博物館
12	相模原市史 現代テーマ編 ～軍都・基地そして都市化～	2014(平成26)年	刊行物	相模原市立博物館